

ひむかラリー2026

4月18日-19日／宮崎県西臼杵郡高千穂周辺 120.95km 3SS 17.16km／ルート・10・延岡／雨／ウエット／ターマック
Text & Photo: PLAYDRIVE (編集部)

若手の納富／藤澤が先制パンチ



RH-2 優勝 #16 納富瑠衣／藤澤卓弘



RH-2 4位 #15 枝光展義／枝光祐子



RH-2 5位 #12 筒井克彦／丸山晃助



RH-2 6位 #14 吉田賢吾／小川まり



左から2位＝黒原康仁／松葉謙介、優勝＝納富瑠衣／藤澤卓弘、3位＝林大河／有川大輔。



RH-2 2位 #11 黒原康仁／松葉謙介



RH-2 3位 #13 林大河／有川大輔

RH・2クラスは、昨年までAT車両クラスのRH・6クラスで圧倒的強さを見せていた若手の納富瑠衣／藤澤卓弘が、MTのGR 86に乗り換えて参戦し、このクラスでも速さを見せた。SS1で全日本優勝経験を持つ黒原康仁／松葉謙介に4・6秒差のベストを奪った納富は、SS2で黒原に2・1秒差まで迫られるものの、SS3でふたたびベストを奪いトップを快走。RH・2クラスデビュー戦で勝利を飾った。

「今年はタイヤ規定が変わったのでSタイヤを選択したことも勝因のひとつ」と納富。激戦のRH・2クラスに、またひとり有望なドライバ―

2026年JAF九州ラリー選手権の開幕戦となる「ひむかラリー2026」が、4月18日・19日に宮崎県高千穂町周辺を舞台に開催された。天岩戸温泉村「神楽の館」に隣接する天岩戸多目的広場を拠点とするラリーは、午前中にSS四季見原(4・69km)を2回、午後には一部のコースをSS四季見原と共有するSS愛宕山(7・78km)を2回走行する計24・94kmのSSが用意された。天候は朝から雨が降り、一部深い霧が立ちこめるウエットコンディション。SS3でアクシデントが発生したことにより、SS4がキャンセルとなった。

津野／梶山が新たなエボXで開幕戦制覇



RH-1 優勝 #1 津野裕宣／梶山剛



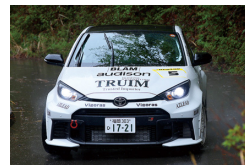
RH-1 2位 #2 松尾薫／平原慎太郎



RH-1 3位 #3 阪本寧／阪本瞳子



RH-1 4位 #8 神田和徳／後藤義則



RH-1 5位 #5 廣川慎一／森下志朗



左から2位＝松尾薫／平原慎太郎、優勝＝津野裕宣／梶山剛、3位＝阪本寧／阪本瞳子。



RH-1 6位 #9 前田耕造／前田雅子

泉／WATAKENがライバル勢を圧倒



RH-4 優勝 #24 泉勇希／WATAKEN



RH-4 2位 #25 上清瑞穂／内藤通孝



RH-4 3位 #26 廣瀬友久／小原ひろみ

近藤／川野が逆転優勝



RH-3 優勝 #20 近藤員章／川野想一郎



RH-3 2位 #21 北垣恵一／河本拓哉



RH-3 3位 #18 三浦勇二／三浦勇輝

フィットを投入した中西／吉浦が優勝



RH-6 優勝 #32 中西昌人／吉浦アクアネッタ茉凜



RH-6 2位 #34 今村淳一／樺裕一



RH-6 3位 #36 小松元司／藤岡恵子

ジムカーナドライバーの福崎／山下が快勝



RH-5 優勝 #31 福崎慎吾／山下直樹



RH-5 2位 #29 山田益丈／山田芽生



RH-5 3位 #28 常慶明秀／越智翔優

が加わった。

RH・1クラスは、昨年までのランサーエボリューションXから新たなランサーエボリューションXを仕上げてきたデフエンディングチャンピオンの津野裕宣／梶山剛が、S1とSS2を連取。SS3はGRヤリスを投入した松尾薫／平原慎太郎がベストを奪ったが、「事実上のシェイクダウンでしたが、クルマは良い感じですよ」と序盤のマージンを活かした津野が、開幕戦を制した。

RH・3クラスは、S1で三浦勇二／三浦勇輝がベストを奪うものの、SS2で近藤員章／川野想一郎が一気に逆転。SS3でもベストを重ねた三浦は、SS2で2番手に浮上してきた北垣恵一／河本拓哉に13・2秒差をつけ、地区戦初優勝を飾った。

RH・4クラスは、昨シーズン6戦全勝でチャンピオンを獲得した泉勇希／WATAKENが、この開幕戦でも強さを発揮。全SSでベストを奪い、2位の上清瑞穂／内藤通孝を48秒引き離し、開幕戦を制した。

RH・5クラスは、ジムカーナドライバーの福崎慎吾／山下直樹が快走。全SSベストで今季初優勝を飾った。

RH・6クラスは、地区戦用にフィットを投入した全日本ドライバーの中西昌人／吉浦アクアネッタ茉凜が全SSベストで開幕戦を制した。